

Mランドニュース Vol. 57

丹波ささ山校 平成23年12月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所

〒669-2436 兵庫県篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940

発行責任者 豊田文雄

<http://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

一人で楽しく生きてゆくためには、心の中に何らかのパートナーの存在が必要であるが、二人で生きている人は、一人でも生きてゆける強さを前提として二人で生き、お互いに助け合ってゆくところに楽しみが見出せるものなのである。

河合隼雄先生(こころの处方箋より)

Mランドフェスタ 続報

実行委員会事務局長

岸 恒三郎

第六回Mランドフェスタ開催にあたり、ご協賛いただいた方々をはじめ、当日ご参

加の多くの皆様のおかげで成功裏に行なえましたことをまずもって厚くお礼申し上げます。

この度のMランドフェスタでは「篠山に元気を」をテーマとし、まず篠山を元気にして、日本全体の元気へ繋げようと計らい取り組んでまいりました。

そして閉幕直前、壮行の篠山太鼓と来場者に見送られて物資と共に支援の思いを被災地に届ける道程に出発しました。

以下、その様子をご報告します。

○カウンター・パート(対等な立場にある「相手」)

篠山市のカウンター・パート

は宮城県南三陸町です。Mランド丹波ささ山校も現地との繋がりを持ち続けることを目的とし、湯たんぽ・力



大雄寺ご住職と記念写真(左:岸INS)

また、梅もどきの苗木三本を南三陸町にある大雄寺にお願いして植樹し、街との繋がりと復興を祈願しました。

植樹をさせて頂いた地域は、津波の塩害により草木が枯れ、今なお残る震災のつめ跡に驚きを隠すことができませんでした。植樹をさせていただきたい大雄寺様のご当時の状況を説明していたが、報道では伝えられてないことがばかりで、悲惨な光景を目の当たりにしながら、ただただ相槌を打ち続けるだけでした。

イロ・幼児用玩具にフェスタ参加者に書いていただいたメモを添えて届けさせていただきました。



梅もどきの苗木は赤い実が印象的でした

ボランティアの内容は、主にコミュニティサポート(被災された方と触れ合うこと)や物資の配布で、仮設住宅に住まわれてる方とコミュニケーションをとることが出来ました。しかし、被災されている方は皆様とても生き生きされていました。私の目には映り、生きませんでした。植樹をさせていた大雄寺様のご当時の状況を説明していたが、報道では伝えられてないことがばかりで、悲惨な光景を目の当たりにしながら、ただただ相槌を打ち続けるだけでした。

ボランティアの内容は、主にコミュニティサポート(被災された方と触れ合うこと)や物資の配布で、仮設住宅に住まわれてる方とコミュニケーションをとることが出来ました。しかし、被災されている方は皆様とても生き生きされていました。私の目には映り、生きませんでした。植樹をさせていた大雄寺様のご当時の状況を説明していたが、報道では伝えられてないことがばかりで、悲惨な光景を目の当たりにしながら、ただただ相槌を打ち続けるだけでした。

○ボランティア 現地にてボランティア活動に参加をさせていただきました。

東日本大震災は、被害の大きさだけでなく日本にと



ボランティア仲間と談笑する今回同行のMランド卒業生の市野翔太さん(右端)



支援の湯たんぽ等を手渡す

現地では誰もが心を通わせ、互いを想いあう気持ちを持つおられるのを肌で感じることができます。これから

先、まだまだ復興を遂げて行く為に多難もありますが、勇気と希望に満ち溢れた南三陸町の皆様は、この日本に元気を発信されておられる、

そう感じさせられました。現地では誰もが心を通わせ、互いを想いあう気持ちを持つおられるのを肌で感じることができます。これから

ても大きな影響を与えました。これを契機に考え方や心の在り方、物の大切さを考えさせられる時代へとなつてきましたように思うのです。

深みゆく秋を感じる今日この頃、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日はMランドフェスタにお招きいただきありがとうございました。当日震災を乗り越えて感じるところを話させていただいたときの来場者の集中力、聴く姿勢には驚きました。あの空の下、シーンと私の話に耳を傾けてくださいる皆様の姿はビックリ致しました。

Mランドの卒業生が主たる参加メンバーだとは思いましたが、彼らは二週間という短い教習期間中にいろいろなことを学び、感じ、成長しておられるのだと思いました。そんな学びの場Mランドを尊敬しています。

■ 参加者に震災の体験談を語っていただきました(株)の屋石巻水産の中村暢宏様よりのお便りです。

少しほお役に立てたのかな?と自己満足の中帰途につきました。本当にありがとうございました。今後とも何かで一緒にさせていただければと思っております。よろしくお願いします。

■ 参加者に震災の体験談を語っていただきました(株)の屋石巻水産の中村暢宏様よりのお便りです。

